



D  
坂の

殺人事件

監督 実相寺昭雄

主演 真田広之

原作 江戸川乱歩

新潮文庫 江戸川乱歩傑作選 所収  
新編文庫 江戸川乱歩傑作選 所収  
角川文庫

嶋田久作

吉行由実

大家山祐子

三輪ひとみ

岸部一徳

製作 黒澤満 植村敏

企画 大木淳吉 小坂忠一

プロデュース 瀬降重 有原真実 穴倉徳子

脚本 藤川昭夫

撮影 中尾正夫

照明 生嶋賢二

美術 池谷仙克

録音 福岡修

編集 西東清明

製作 東映東北新社

企画製作協力 オスコグイ

配給 東京テアトル

「映倫製」制限付 中学生以下は一人場になれません。

奉賀

國運隆

モダンな谷崎は「鍵穴」から秘事を覗く。  
だが狂熱の乱歩は、いつも「隙間」から覗く。  
実相寺が乱歩の視で撮った!

荒俣宏(作家)

危険! 覗けば、身動きとれない  
官能地獄に突き落とされる。

真田広之の妖しい美しさに酔い痴れた。

中田秀夫(映画監督「リング」)

久々に実相寺世界をたっぷり堪能させてもらった気がします。

耽美な美学を支えるスタッフや  
キャストのすぐれた仕事に拍手。

石井聰亘(映画監督「ユメノ銀河」)

なんてエロチック! なんて美しい!  
ウソのつきかたは  
これで勉強するといひ!

私も「食わず嫌い対決」や  
「真つ赤なホント」で応用してみた。  
うますぎるウソは見抜かれるのだあ。  
ふんふん!

中谷美紀(女優)

# D坂の殺人事件

「帝都物語」「ワルトラン」の鬼才・実相寺昭雄監督が「屋根裏の散歩者」に続き再び挑んだ江戸川乱歩の世界。

「写楽」「リング」らせんなど話題作への出演で、意欲的な活動を続ける真田広之が、倒錯的な天才悪作師を好演。「屋根裏の散歩者」でハリ役となった明智小五郎を嶋田久作が演じる。個性派俳優・岸部徳が予審判事、笠森役で脇を固め、ピンク映画界を中心に活躍し自ら監督も手がける吉行由美が古本屋の女将を演じるほか、「キングリターン」「HANA B」  
と北野武作品に出演が続く、大家由祐子が体当りの熱演。「ラブ&ポップ」「エ  
コエコアザラクⅢ」などで人気急上昇中の美少女、三輪ひとみが小林少年  
に扮するなど、癖もある布陣で乱歩ワールドを紡ぎ出す。

「新世紀エヴァンゲリオン」「ラブ&ポップ」で庵野秀明監督との名  
コンビで知られる薩川昭夫が「屋根裏」「押繪と旅する男」に引き  
続き脚本を執筆。撮影は「幻の光」の中堀正夫、美術は「陽炎座」の  
池谷仙克。音楽は「八月の狂詩曲」「うなぎ」の池辺晋一郎が担当し、  
「オンド・マルトノ」という独自の音色を持つ電波楽器を、世界的な奏  
者である原田節の演奏で、魅惑的な世界を作り上げた。

物語の舞台は昭和2年の東京・団子坂。古本屋・粋古洞の女将・時  
子が殺され、第一発見者である従業員・斎藤が容疑者として逮捕され  
る。しかし、「伝説の責め絵師」大江春泥の悪作が粋古洞から発見され  
たことから、天才悪作師・路屋清一郎にも嫌疑がかかる。予審判事・笠  
森はこの確証のない事件を解決するために、二人に、「心理試験」を実  
施する。その結果に疑問を持った笠森の友人・明智小五郎が事件の  
真相を暴いていく。



イラスト:丸尾末広

原作:江戸川乱歩  
脚本:薩川昭夫  
監督:実相寺昭雄  
主演:真田広之

製作:東映、東北新社  
企画製作協力:エス、コダイ  
配給:東京テアトル  
宣伝協力:オムロビクチャーズ  
カラー/35ミリ/ワイドスクリーン 90分  
東京国際フランチステイク映画祭'97出品作品

## 「乱歩と私」 薩川昭夫

「君は乱歩を読んだことはあるか?」  
実相寺昭雄監督にそう聞かれたのは  
ちょうど7年前のことだ。

「乱歩ですか、中学の頃よく読みました  
よ。『陰獣』とか『屋根裏の散歩者』と  
か『鏡地獄』とかいいですねえ」  
とかなんとか答えた覚えがある。

だがそれは嘘である。  
乱歩なんて読んだことはなかった。  
中学の友人の中には乱歩を愛読し  
ていて、熱心に勧める奴もいたのだが、「屋  
根裏に潜んで他人の生活を覗く男の話」  
や「鏡の球の中に閉じこもって発狂す  
る男の話」と聞いただけで興味は失せ  
こんなものを読む奴も読む奴だが書  
く奴も書く奴だ、などと思ったりした。

だが今回は脚本家デビューがかかっ  
ていたし、それも映画だ。早速原作を  
買いつけ、その日のうちに読み終えた。  
だから「乱歩と私」は実に歪な出会  
いをしていくことになる。

読後思ったのは「なんてリベラルな作  
家なんだ」ということ。  
発表当時の作者が青年、主人公の多  
くも青年ついでに読者のこちらも青年  
だった。主人公を見つめる作者の自由  
な目が全体に感じられ、それがとても  
暖かく心地よかった。

乱歩を読んで今でも感じるのは、こ  
の「自由さ」かな。  
「D坂の殺人事件」で3本、乱歩を  
脚色したことになる。

その間に乱歩以外の脚本を何本も  
書いているのだが、エロティシズム、胎内  
願望、ネクロフィリア、人形愛、ホモセク  
シヤリティといった乱歩的要素を知ら  
ず知らずのうちに含んでいたことに気  
づき、愕然とした。

何のことはない。乱歩もまた私自身  
を脚色していたのである。

さつかわあきお 脚本家  
作品「屋根裏の散歩者」「押繪と旅する男」  
「新世紀エヴァンゲリオン」「ラブ&ポップ」

5/30(土)より(6/12(金)マデ)ロードショー!!

前売特別鑑賞券¥1,500発売中!(当日:一般1,800円の処)

\*劇場窓口、阪急、阪神、東映、エストIPG、チケットセゾン、チケットぴあにてお求め下さい。

梅田ロフトB1 Tel.06(359)1080

テアトル梅田

http://www.theatres.co.jp/cinemabox/